

脳卒中急性期医療体制実施に向けてのネットワークづくり

管理部長 脳神経外科部長
日山 博文

ご紹介患者の症例報告

第12回 循環器内科部長
山本 雅人

新任医師のご紹介

せんぼ医療感染講習会について
ICT・小児科部長 辻 祐一郎 (ICD)

News & News

●市民公開講座「手のしびれ」
開催報告

●第5回港区医師会
せんぼ東京高輪病院合同
「マナー&エチケットセミナー」
開催のお知らせ

●第5回品川高輪医療セミナー
開催のお知らせ

vol.23
2009.3.1

せんぼだより
うえーぶ
Wave



せんぼ
東京高輪病院
地域医療連絡室

〒108-8606
東京都港区高輪3丁目10番11号
tel:03-3443-9576 fax:03-3443-9570
URL:http://www.sempos.or.jp/tokyo

病院理念

私たちは、病に苦しむ人や障害に悩む人に科学的根拠に基づく最善の先進的医療を迅速かつ安全に提供するとともに、人権と個人情報の保護を心がけ、相互信頼に基づく快適な医療の実践に努めます。 せんぼ東京高輪病院

脳卒中急性期医療体制実施に向けてのネットワークづくり

せんぼ東京高輪病院
管理部長 脳神経外科部長

ひやま ひろふみ
日山 博文



東京都は保健医療に関する総合的・基本的な「東京都保健医療計画」の改訂を去年3月に行い、その中で脳卒中が重点疾患としてあげられました。脳卒中医療連携の取り組みが計られ、港区は区中央部として中央区、千代田区、文京区、台東区とともに医療圏を形成し、急性期脳卒中患者さんを遅滞なく受け入れができるように搬送体制づくりを行ってきました。当院も当初からこのネットワークづくりに参加しており、2月に2週間のモデル施行のち3月から正式に東京都脳卒中急性期医療体制が実施されることになります。

具体的には参加病院が、急性期脳卒中患者さんの受け入れ可能な曜日や時間帯を提出し「東京都脳卒中急性期医療機関カレンダー」を作成、これを消防機関に情報提供し迅速に患者さんを受け入れることになります。当初はtPA治療の対象である発症3時間以内の脳梗塞患者を念頭に議論が行われてきました。しかし、救急隊初動時においては脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の鑑別が困難なこと、tPAが実際に行われているのは脳梗塞発症の数%であること、病院が密集する都心部では受け入れの選定・決定までに時間がかかる、等から対象を発症後24時間以内の脳卒中患者さんにすることになりました。当院はすでに心筋梗塞患者さん等を対象にしたCCUネットワークにも参入していますが、この東京都脳卒中急性期医療体制にはCCUネットワークのようなホットラインはない、また頭部外傷やけいれん発作などの神経救急の受け入れがおろそかになってはならない、などからこの体制実施に

よりどれだけ脳卒中患者さんの機能予後や社会復帰がアップするかはわかりません。ただ社会問題化している救急患者さんのたらいまわしをなくす意味でも東京都などの第三者機関が間に入ってシステムづくりと運用を行っていくことが必要になってきています。

一方、救急搬送にならない軽症脳卒中の患者さんの場合、自力で開業医の先生方を受診されることがあります。この場合発症後3時間以内の脳梗塞であっても症状が軽微なためtPAの適応にならないことがほとんどです。当院では軽微であっても、あるいは亜急性期の脳卒中の患者さんであっても開業医の先生方からの紹介は全例受け入れる覚悟、体制です。夜間に脳外科の当直医がいなくてもcall番をおいていますので、気兼ねなく紹介していただければと思います。

昨今の産科婦人科医師減少に伴う医療再編により当院でも婦人科の常勤医師がいなくなりました。このため婦人科外来枠が少なくなり、紹介等で開業医の先生方にご迷惑をおかけしているかと思われます。ただ4月からは今まで欠員であった放射線科医師が赴任することになっており画像の依頼また読影がよりスムーズになるかと思えます。

今年、当院は懸案であったDPC導入に向けて大きく動き出します。大変な経済情勢、医療情勢の中ですが、このDPC導入をよいリセットととらえ、より積極的な地域医療・救急医療に取り組んでいく所存です。

今後とも先生方からよりいっそうのご支援・ご指導をいただければと思います。



いつも患者様のご紹介、誠にありがとうございます。

循環器内科は、平成20年12月末で循環器センター長であった出川副院長が退職し、平成21年1月より、私、山本が循環器部長となりました。また、心臓超音波を専門とする大塚健紀が着任、板谷英毅と荒木正ら4人の医師の新しい体制でがんばっていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

【症例】

症例は67歳男性。平成20年10月20日夜から胸痛発作反復していました。10月21日朝5時から強い胸痛が持続し、近医を受診。心電図上、ST部分の上昇をV1-V4に認め急性心筋梗塞の診断。当院へ連絡するとともにニトロ製剤の舌下を施行。救急車にて当院到着時には、心電図上、上昇していたST部分は基線にもどり陰性T波を残すのみでありました。直ちに緊急冠動脈造影を施行したところ、左前下降枝#6近位部に90%狭窄を認めました(図1)。

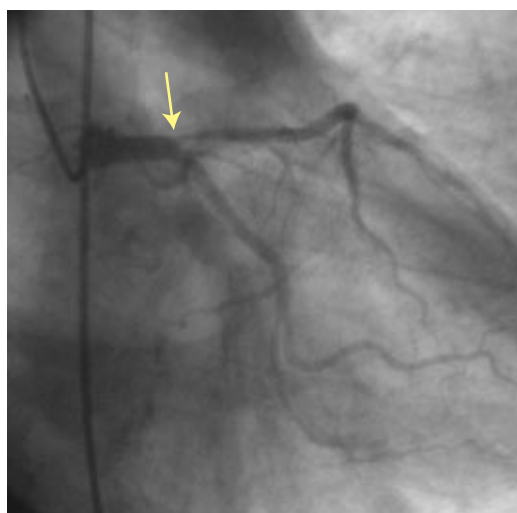


図1

引き続き、経皮的冠動脈形成術施行。①2.75mmのバルーンにて病変を拡張し、②径3.5mm長さ18mmの

冠動脈ステントを留置し(図2)、良好な拡張を得ました(図3)。

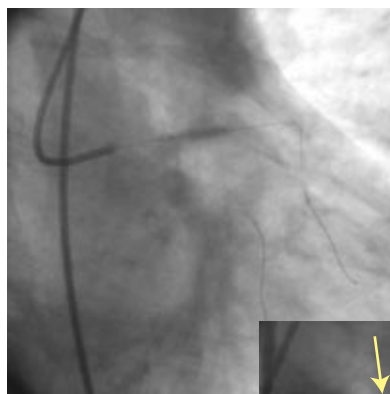


図2

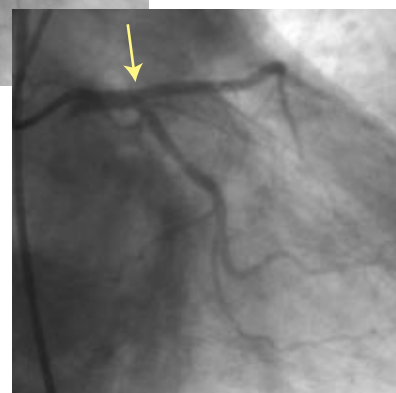


図3

術後経過も良好で、CK値の上昇も認めずに10月28日退院しました。本症例は、左前下行枝近位部という、心筋梗塞を起こしたならば重症化する可能性のあった患者で、前医の適切なプライマリーケアにより心筋梗塞を回避できた症例でありました。

まだまだ寒い日が続きますので、胸の症状の患者様も多いかと思えます。疑い症例も含めてご紹介いただき、よりよい地域連携を実現したいと思います。よろしくお願いたします。

新任医師のご紹介

平成21年1月1日付



おおつか たけのり
大塚 健紀

せんぽ医療感染講習会について

ICT (院内感染制御チーム)・小児科部長 辻 祐一郎 (ICD)



今シーズンのインフルエンザの流行もピークをこえ、本うえぶが皆さま方に届くころには、少し落ち着いてきているのではないかと考えております。

さてこれまで、計7回のせんぽ医療感染講習会を開催してまいりましたが、毎回多数のご参加をいただきありがとうございます。本会は、2006年4月から毎月1回の院内感染勉強会から発展して、2007年7月から、地域の先生方をはじめ、周辺の学校や企業の関係者、マスコミ関係者などにもご参加いただけるように、オープンな会として生まれ変わって開催してまいりました。また港区医師会の御共催も毎回いただいております。

以下に、これまでの開催テーマを記載します。

- 第1回 「最近話題のウイルス疾患と病院感染対策」吉田 正樹先生
- 第2回 「日赤医療センターでのICT活動」安藤 常浩先生
- 第3回 「インフルエンザワクチンとインフルエンザ治療の再確認」崎山 弘先生
- 第4回 「話題の耐性菌感染症-院内から市中に広がる耐性菌の脅威-」 館田 一博先生
- 第5回 「新型インフルエンザ:準備できていますか?」 森兼 啓太先生
- 第6回 「タミフルの最新安全情報～基礎から疫学まで～」
- 第7回 「新型インフルエンザの状況とリレンザの最新情報」「リスクマネジメントとしてのインフルエンザ対策」

これからもタイムリーな話題を、充実した内容で開催していきたいと考えております。ご希望のテーマや講師などがございましたら、ぜひご連絡ください。

今後とも本講習会にご参加いただければ幸いです。

次回の予定は、インフルエンザ桿菌 (Hib) ワクチンや日本脳炎の新ワクチンの情報を含めた講習会を本年5月か6月に開催できるように企画中です。詳細が決まりましたらご連絡申し上げます。今後さらに内容を充実させ、多くの皆様方にご参加いただけるように努力してまいります。

ご意見、ご要望は、当院地域医療連絡室もしくは小児科・辻までいただきたく存じます。よろしく願いいたします。

●第7回 せんぽ医療感染講習会

「新型インフルエンザの状況とリレンザの最新情報」

11月から3ヵ月、連続して集中的に開催してまいりましたインフルエンザ対策のシリーズ最終となる講習会を1月16日に開催しました。12月のタミフルに続いて今回はリレンザを取り上げました。

院外から46名の方に参加いただきました。11月から3回、合計では279名(当院職員146名含む)の皆さま

が参加され、インフルエンザ対策に関する情報提供や交換の場として地域の先生方や公共施設の皆様に多少なりとも貢献できたのではないかと考えております。今後とも外来ホールを利用した気軽に足を運んでいただけるイベントを企画してまいります。ご案内の節はよろしく願いいたします。

開催報告 市民公開講座「手のしびれ」

平成20年11月29日土曜日、午後3時から外来ホールにおいて、港区医師会整形外科医会が主催となり、開催されました。当日は港区医師会副会長 赤枝先生、整形外科医会会長 那須先生のご挨拶のあと、「手のしびれ」のテーマに基づき、なぜ起きるのかさまざまな要因とそのメカニズムについて、当院 中川副院長の講演からスタートしました。引き続き脳卒中との関連について脳神経外科部長の日山管理部長の講演、頸椎症との関連は釘宮整形外科医長、

手根管症候群が大数加医師、肘部管症候群が中川副院長、リハビリについて白土整形外科部長とリレー形式で行われました。

講演の合間には、実際にモデルに電気の刺激を加えながらのデモンストレーションも交えて、手のしびれについてわかりやすい説明がされたので、参加者も興味深く聞いていらっしゃいました。

土曜日の午後3時という時間にもかかわらず45名の方に参加いただき、盛況のうちに終わることができました。ありがとうございました。



講座風景



港区医師会副会長 赤枝先生



整形外科医会会長
那須先生



電気刺激による実験風景

第5回

港区医師会・せんぼ東京高輪病院 合同「マナー&エチケットセミナー」 開催のお知らせ

日時 平成21年3月16日(月)午後7時～
場所 1階外来ホール
講師 未定

第5回

品川高輪医療セミナー 開催のお知らせ

日時 平成21年4月20日(月) 午後7時～
場所 1階外来ホール
演題 「いくつになっても成長する脳
～健全な脳番地が病を克服する～」
講師 加藤 俊徳先生

婦人科 診療体制変更のお知らせ

1月から常勤医師の減に伴い外来のみの診療となりました。手術・入院が対応できないためご紹介に応じられないケースがあるかと思われます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

編集後記



梅の枝

寒さも峠を過ぎ、やっと春の気配を感じる時期になりました。正面玄関右側の紅梅・白梅が2月に入りまだ寒い時期だというのに花を咲かせました。紅白そろとう縁起がいいことがあるのでは、と期待してしまいます。なにかと厳しさの続く世の中ですが、穏やかに春を迎えたいものです。

3月恒例の接遇研修「マナー&エチケットセミナー」が開催されます。ぜひご参加くださいますようお願いしております。